

第5分科会 人権教育

【研究課題】 人として共に生きる態度を育てる人権教育

【研究の視点①】 自他の人権を尊重する態度を育成する教育の推進

＜研究発表＞ 出会いとふれあいのある学校づくり

－相手の気持ちを考えて行動する子どもの育成を目指して－

群馬県高崎市立倉淵東小学校 関根 和子

＜発表概要＞

学校における人権教育は、全教育活動を通じて他人を思いやる心やお互いの個性を認め合う心、自分や他人の生命を重んじる心など、豊かな人間性の育成に努めることが求められている。そのためには、ふれあい体験や福祉体験、奉仕体験等の価値ある体験活動を教育課程の中に位置づけて実践化を図り、共に感じ、共に生きるという態度を実感としてとらえさせていくことが重要である。

本研究では、他者の立場でその思いや心情を考え、他者とよりよい人間関係を築いていこうとする態度を育成する体験活動の在り方を追究するとともに、人権教育を推進するうえでの校長の役割や在り方を実践を通して究明する。

具体的には、教職員の人権意識の高揚、感性を磨く機会や場の設定、全教職員の人権教育への参画意識の育成、家庭や地域の連携等について研究をする。